外郭団体経営改善行動計画に関する年次報告書（令和7年度）

本組合では、外郭団体のうち公益法人３団体について、自律的かつ健全な経営を促進するため、令和５年３月に、令和５年度から令和９年度までを計画期間とする「経営改善行動計画」を策定・公表しました。

本計画では、計画の進捗状況を管理するため、団体毎に指標と数値目標を設定し、数値目標の達成状況を「経営改善計画の年次報告書」によって毎年度公表します。

本組合といたしましては、これらの取組により、外郭団体の公正で透明度の高い事業運営を推進し、経営改善に向けて適切に支援していくこととしています。

令和７年７月

〈この資料の見方について〉

〇収益や費用等については各年度の決算額に、資産や負債については各年度末の状況にそれぞれ基づいて表示しています。また、千円未満の端数は原則として切り上げで表示しています。

〇名管（名古屋港管理組合）からの財政支出について

・消費税込みで表示しています。

・繰越分については、前年度からの繰越分は含め、翌年度への繰越分は除いて表示しています。

目　次

年次報告

１．公益財団法人　名古屋みなと振興財団・・・・・・・・・・・・・・・　１

２．公益財団法人　名古屋港緑地保全協会・・・・・・・・・・・・・・・　４

３．公益社団法人　名古屋清港会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

（財団法人、社団法人）

1　公益財団法人　名古屋みなと振興財団

（令和7年7月1日現在）

設立年月日	昭和46年3月6日	代表者氏名	理事長　前田　功憲
所在地	名古屋市港区港町1-3		
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ	https://nagoyaaqua.jp/		
資本金・基本金	70,000千円	本組合出捐比率	100%
設立目的	名古屋港における海事思想の高揚と海洋文化の普及に努め、併せて観光振興を図り、名古屋港の発展に寄与することを目的とする。		

主な事業	事業名	令和5年度事業費	事業の概要
	海事思想及び海洋文化の普及事業	3,355,396千円	名古屋港における海事思想及び海洋文化の普及に関する事業 （水族館の管理運営、博物館の管理運営等）
	賑わいの提供事業	195,978千円	名古屋港の発展を目的としたガーデンふ頭における賑わいの機会と場を提供する事業 （ガーデンふ頭臨港緑園の管理運営、ジェティの管理運営等）
	利便の向上事業	168,703千円	ミュージアムショップ、レストラン、自動販売機等の管理運営

役職員数		常　勤			非常勤
	役員数	3人	（うち名管派遣）　0人	（うち名管OB）　2人	11人
	職員数	105人	（うち名管派遣）　13人	（うち名管OB）　2人	0人

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
名管からの財政支出	委託料	千円 0	千円 0	千円 0
	補助金及び負担金	86,522	51,235	14,003
	指定管理料	489,224	86,646	60,880
	貸付金	0	0	0
正味財産増減計算書	経常収益	2,789,122	3,463,917	3,892,621
	経常費用	2,795,136	3,428,089	3,784,807
	経常増減額	△ 6,015	35,828	107,815
	正味財産増減額	△ 8,834	827	59,377
貸借対照表	総資産	1,547,718	1,936,621	1,937,870
	総負債	1,299,264	1,687,463	1,632,757
	正味財産	248,454	249,159	305,113

経営改善行動計画	次ページ参照

※収益や費用等については各年度の決算額に、資産や負債については各年度末の状況にそれぞれ基づいて表示しています。また、千円未満の端数は原則として切り上げで表示しています。

※名管（名古屋港管理組合）からの財政支出について
・消費税込みで表示しています。
・繰越分については、前年度からの繰越分は含め、翌年度への繰越分は除いて表示しています。

（本組合所管部署：港営部文化交流施設課）

現状と課題

【現状】
・名古屋港水族館、名古屋港ポートビル等の施設について、指定管理者として円滑な管理運営に努めるとともに、これらの施設を活用した体験プログラム等を実施している。
・施設の適正な管理運営にあたっては、継続的な利用者サービスの向上、利用促進、経費縮減、安全・安心の確保、業務の効率化等に取り組んでいる。
・目標値は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に減少することを想定し、コロナ禍前の水準を回復することを目標とする。

【課題】
・名古屋港水族館を始めとする指定管理施設は、景気動向等の影響を受けやすく、また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、利用者数減少などの影響を受けている。よって、継続的な公益事業の実施や法人運営のため、安定的な収入の確保が課題となっている。
・当財団が管理する「名古屋港ポートビル及びガーデンふ頭臨港緑園」は公募により指定管理者を選定する施設であるため、5年ごとに他の事業者と競争し指定管理者に指定されなければ、現在当財団が当該施設を活用して実施している事業の継続が困難となる。

経営改善方針

名古屋港水族館を始めとするガーデンふ頭の各施設を一体的に管理運営することで、各施設間の連携を図りつつ、ガーデンふ頭における各種普及事業の実施、観光振興、サービスの向上に努めていくとともに、継続的な法人運営を可能とするための方策について検討を行う。

主要事業・取組の内容

事業・取組名	内容
1 施設の魅力向上	施設の魅力向上に向け、展示の充実、イベント・特別展の開催、海事思想の高揚や海洋文化の普及に資する体験プログラムの実施及びwebの活用を行っていく。 ⇒ 指標：名古屋港水族館入館者数 ⇒ 指標：名古屋港ポートビル（展望室、海洋博物館、南極観測船ふじ）入館者数
2 健全経営	公益事業の安定的な実施と経営の安定化を図るため、水族館内ミュージアムショップ、飲食店等による収入の確保に努めるとともに、公益認定法に拠った弾力的な資金運営について検討を行う。 ⇒ 指標：管理運営する施設の利便性を向上させる事業（収益1）の当期一般正味財産増減額
3 研究活動	名古屋港水族館においては、希少生物の種の保存及び研究活動に取り組んでおり、学術交流協定を締結している研究機関と連携しながら繁殖研究に努めていく。 ⇒ 指標：研究発表の実施件数
4 営業活動	館内アンケート、旅行代理店及び学校への聞き取りなどの情報収集を行うとともに、安定的な収入の確保に向け、ガーデンふ頭諸施設の情報等を提供する。「名古屋港水族館パートナーシップホテル」の登録推進など、感染症の影響を踏まえた利用促進を図る。 ⇒ 指標：営業活動訪問箇所数
5 情報発信	マスメディアに対する積極的なニュースリリースやSNS（フェイスブック、インスタグラム）を活用した広告宣伝のほか、ホームページの頻繁な更新を始め、スタッフブログなど多くのお客様に興味をもっていただけるよう情報発信に努め、来港者の増加を図る。 ⇒ 指標：ホームページのトピックス更新数 ⇒ 指標：ホームページ閲覧数

指標と数値目標（計画期間：令和5年度～令和9年度）

年度 指標	R3年度 実績	R5年度目標 上：目標値 下：実績値	R6年度目標 上：目標値 下：実績値	R7年度目標 上：目標値 下：実績値	R8年度目標 上：目標値 下：実績値	R9年度目標 上：目標値 下：実績値
名古屋港水族館入館者数（人）	1,316,628	2,000,000	2,000,000	2,100,000	2,100,000	2,200,000
		2,436,101	2,407,724			
名古屋港ポートビル（展望室、海洋博物館、南極観測船ふじ）入館者数（人）	254,631	455,000	455,000	455,000	455,000	455,000
		467,926	547,329			
管理運営する施設の利便性を向上させる事業（収益1）の当期一般正味財産増減額（円）※1	5,918,937	9,000,000	9,000,000	9,450,000	9,450,000	9,900,000
		38,285,277	62,540,262			
研究発表の実施件数（件）	20	20	20	20	20	20
		48	49			
営業活動訪問箇所数（箇所）	84	370	370	370	370	370
		167	120			
ホームページのトピックス更新数（回）	269	270	270	270	270	270
		311	351			
ホームページ閲覧数（件）	10,450,171	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000
		25,670,000	26,182,062			

≪特記事項≫
※1（収益1）はミュージアムショップ、レストラン、自動販売機等の管理運営施設の利便性を向上させる事業。

現状認識

【目標の達成状況の検証･外部要因等】

・名古屋港水族館及び名古屋港ポートビルの入館者数は、外国人旅行者の増加等により目標を上回った。
・名古屋港ポートビルにおいては、開館40周年を迎え、各種の記念事業・イベントを実施した。
・収益1の当期一般正味財産増減額は、入館者数の大幅な増加（目標200万人→実績241万人）に伴い、飲食物販の売上が好調であったため、目標を達成した。
・研究発表の実施件数は、学術交流協定を締結する大学との共同研究や日本動物園水族館協会等が主催する各種学会での研究発表を積極的に行い、目標を上回った。
・営業活動訪問箇所数は目標値を下回ったが、SNSによる情報発信を積極的に行い、集客に努めた。
・ホームページのトピックス更新数及び閲覧数は、トピックスの頻繁な更新や飼育員によるスタッフコラム掲載など、最新情報の発信に努め、目標を達成した。

（財団法人、社団法人）

2 公益財団法人 名古屋港緑地保全協会

（令和7年7月1日現在）

設立年月日	昭和59年5月1日	代表者氏名	理事長　福田　健一
所在地	名古屋市港区港陽一丁目1番69号		
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ	http://www.npgpa.jp/		
資本金・基本金	50,000千円	本組合出捐比率	100%
設立目的	豊かで快適な港湾環境を創出するため、名古屋港の臨港地区内及びその周辺の緑化を推進し、適切な環境保全に努め、もって名古屋港の発展と親しまれる港づくりに寄与することを目的とする。		

主な事業	事業名	令和5年度事業費	事業の概要
	緑化推進事業	148,701千円	緑化に関する調査研究事業、緑にふれあう機会と場を提供する事業、レクリエーションの機会と場を提供する事業
		千円	
		千円	
		千円	

役職員数		常　勤			非常勤
	役員数	1人	（うち名管派遣）　0人	（うち名管OB）　1人	10人
	職員数	7人	（うち名管派遣）　0人	（うち名管OB）　1人	18人

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
名管からの財政支出	委託料	千円 0	千円 2,079	千円 3,003
	補助金及び負担金	42,500	41,600	43,200
	指定管理料	113,075	117,775	101,000
	貸付金	0	0	0
正味財産増減計算書	経常収益	167,748	174,727	158,683
	経常費用	164,208	174,197	158,615
	経常増減額	3,541	530	69
	正味財産増減額	3,516	505	44
貸借対照表	総資産	127,970	122,140	119,374
	総負債	83,633	77,298	74,488
	正味財産	44,338	44,843	44,886

経営改善行動計画	次ページ参照

※収益や費用等については各年度の決算額に、資産や負債については各年度末の状況にそれぞれ基づいて表示しています。また、千円未満の端数は原則として切り上げで表示しています。

※名管（名古屋港管理組合）からの財政支出について
・消費税込みで表示しています。
・繰越分については、前年度からの繰越分は含め、翌年度への繰越分は除いて表示しています。

（本組合所管部署：港営部文化交流施設課）

現状と課題

【現状】
・「緑にふれあう機会と場を提供する事業」、「緑化に関する調査研究事業」及び「レクリエーションの機会と場を提供する事業」の三位一体になった臨港緑地の事業展開を進めている。
・当協会が管理する施設は、公募により指定管理者を選定する施設である。

【課題】
・当協会が管理する施設は、5年ごとに他の事業者と競争し、指定管理者に指定されなければ事業の継続が困難な状況にある。
・施設の適正な維持管理及び利用促進に取り組みつつ、事業の見直し・充実及び経費の合理化を図り、各施設において次期指定管理者として選定されるよう不断の取組が不可欠となっている。

経営改善方針

臨港緑地の価値の向上を図るとともに、地元と連携を図ることで、「緑にふれあう機会と場を提供する事業」、「緑化に関する調査研究事業」及び「レクリエーションの機会と場を提供する事業」を展開する。

主要事業・取組の内容

事業・取組名	内容
1「緑にふれあう機会と場を提供する事業」及び「緑化に関する調査研究事業」	・緑の講演会、園芸講習会及び緑地見学会等緑にふれあう催しを企画、実施する。 ・地元の幼稚園及び保育園を対象に、緑地の見学会などを行う。 ・地元公共団体主催のイベントに参加する。 ・樹木・苗木などに関する知見を蓄積するとともに、緑のカーテンによる減熱効果の確認など緑化に関する調査研究を行う。 ⇒ 指標：緑の講演会、園芸講習会及び緑地見学会等参加人数 ⇒ 指標：温室栽培成果物配布数
2「レクリエーションの機会と場を提供する事業」	・テニス大会、サッカー大会等レクリエーションとしてスポーツ関係の催しを企画、実施する。 ・運動施設を適切に管理し、利用を促進する。 ⇒ 指標：運動施設等の利用者数（野球場・運動広場） ⇒ 指標：運動施設等の利用者数（テニスコート） ⇒ 指標：運動施設等の利用者数（サイクリングロード）

指標と数値目標（計画期間：令和5年度～令和9年度）

年度 指標	R3年度実績	R5年度目標 上：目標値 下：実績値	R6年度目標 上：目標値 下：実績値	R7年度目標 上：目標値 下：実績値	R8年度目標 上：目標値 下：実績値	R9年度目標 上：目標値 下：実績値
緑の講演会、園芸講習会及び緑地見学会等参加人数（人）	4,407	4,550	4,600	4,650	4,700	4,750
		3,812	3,503			
温室栽培成果物配布数（鉢）	6,870	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
		7,277	6,903			
運動施設等の利用者数（野球場・運動広場）（人）	207,510	198,000	198,000	198,000	198,000	198,000
		207,510	210,720			
運動施設等の利用者数（テニスコート）（人）	15,480	15,200	15,200	15,200	15,200	15,200
		13,976	13,344			
運動施設等の利用者数（サイクリングロード）（人）	12,304	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
		9,375	9,447			

≪特記事項≫

現状認識

【目標の達成状況の検証・外部要因等】

「緑の講演会、園芸講習会及び緑地見学会等参加人数」の令和6年度実績は、猛暑の影響で、わくわく体験教室等の屋外開催のイベント参加者が減少し、目標値を下回った。

「温室栽培成果物生産数」の令和6年度実績は、富浜緑地での販売数が減ったため、目標値を下回った。

「運動施設等の利用者数（野球場・運動広場）」の令和6年度実績は、順調な利用により、目標値を上回った。

「運動施設等の利用者数（テニスコート）」及び「同（サイクリングロード）」の令和6年度実績は、屋外レジャーが好まれたコロナ禍が収束したことと、7～8月の猛暑日の影響で、目標値を下回った。

（財団法人、社団法人）

３ 公益社団法人 名古屋清港会

（令和7年7月1日現在）

設立年月日	昭和34年12月22日	代表者氏名	会長 成田 誠
所在地	名古屋市港区作倉町1番95号		
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ	https://www.nagoya-seikokai.or.jp/		
資本金・基本金	なし	本組合出捐比率	なし
設立目的	名古屋港及びこれに接続する河川において、漂流物、汚物等の除去及び投捨ての防止に関する事業を行い、もって航行船舶の安全及び港内の美化を図り、あわせて公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。		

主な事業	事業名	令和5年度事業費	事業の概要
	清掃事業	85,520千円	名古屋港内及びこれに接続する河川の清掃、啓蒙宣伝活動
	大型漂流物除去等事業	29,977千円	名古屋港管理組合からの委託を受け、航行船舶の障害となる大型漂流物の収集作業
		千円	
		千円	

役職員数		常 勤			非常勤
	役員数	1人	（うち名管派遣） 0人	（うち名管OB）1人	22人
	職員数	8人	（うち名管派遣） 0人	（うち名管OB）1人	0人

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
名管からの財政支出	委託料	千円 28,178	千円 34,984	千円 30,498
	補助金及び負担金	64,900	64,900	64,900
	指定管理料	0	0	0
	貸付金	0	0	0
正味財産増減計算書	経常収益	113,799	120,013	115,914
	経常費用	112,147	115,605	119,477
	経常増減額	1,652	4,408	△ 3,563
	正味財産増減額	2,039	5,334	△ 3,200
貸借対照表	総資産	69,724	80,224	80,526
	総負債	52,589	57,755	61,257
	正味財産	17,135	22,469	19,270

経営改善行動計画	次ページ参照

※収益や費用等については各年度の決算額に、資産や負債については各年度末の状況にそれぞれ基づいて表示しています。また、千円未満の端数は原則として切り上げで表示しています。

※名管（名古屋港管理組合）からの財政支出について
・消費税込みで表示しています。
・繰越分については、前年度からの繰越分は含め、翌年度への繰越分は除いて表示しています。

（本組合所管部署：港営部海務課）

〇経営改善行動計画（令和5年3月策定（令和6年6月一部改正））

現状と課題
【現状】 本会は、名古屋港管理組合から貸与されている4隻※の清掃船を使用し、港湾、河川及び運河の清掃、航行船舶の支障となる大型漂流物等除去等の水面清掃活動及び環境美化に関する啓発活動を行っており、運営は会員からの会費、名古屋港管理組合からの補助金及び委託料をはじめ、関係自治体からの負担金により行っている。 【課題】 会員数は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う業績悪化、事業所撤退等による退会もあり、伸び悩んでいる。 また、清掃作業に従事する人員について、本会の一般への知名度が低いため、アルバイトの応募が少なく、特殊な業務ということもあり、採用後すぐに離職することが多く、常に人員不足となっている。一方、正規職員についても、技能伝承の問題や年齢構成に偏りがあることから年齢構成の平準化を図る必要がある。

※「貸与されている4隻（1隻は予備）」と記載していたが、4隻稼働しているため、括弧書きの部分は削除

経営改善方針
本会は、名古屋港で唯一水面清掃や環境美化の啓蒙活動を行う公益社団法人として、継続的な事業の実施と法人運営が求められており、安定した経営基盤や組織体制を維持するため、当会の知名度の向上を図りながら、会員の拡充、寄付金の増額等による自主財源の確保や人材の確保に取り組む。

主要事業・取組の内容	
事業・取組名	**内容**
自主財源の確保	各種会合への参加や関係先への訪問時に積極的に会員への勧誘を行う。 ⇒ 指標：会員数
知名度の向上	「小学生の清掃作業見学会」などのイベントの開催、「環境デーなごや」などの環境イベントに参加する。 ⇒ 指標：各種環境イベントなどの実施及び参加回数 名古屋港水族館南館の常設展「エコ・アクアリウム」内の当会の活動紹介コーナーにおける展示の充実を図る。 ⇒ 指標：展示する塵芥や動画の更新回数
組織体制の安定化	アルバイトについて、Webや求人誌を活用し、人材の確保に取り組む。 ⇒ 指標：アルバイト数 正規職員について、アルバイトの正規職員登用を含めて人材の確保に取り組む。 ⇒ 指標：正規職員数

指標と数値目標（計画期間：令和5年度～令和9年度）

年度 指標	R3年度 実績	R5年度目標 上：目標値 下：実績値	R6年度目標 上：目標値 下：実績値	R7年度目標 上：目標値 下：実績値	R8年度目標 上：目標値 下：実績値	R9年度目標 上：目標値 下：実績値
会員数（社）	301	301	302	303	304	305
		294	291	－	－	－
各種環境イベントなどの実施及び参加回数（回）	7	8	8	9	9	10
		9	10	－	－	－
展示する塵芥及び動画の更新回数（回）	1	1	0	1	0	1
		1	0	－	－	－
アルバイト数（人）	0	1	1	1	1	1
		1	0	－	－	－
正規職員数（人）	8	8	8	8	9	9
		7	8	－	－	－

≪特記事項≫

現状認識

【目標の達成状況の検証・外部要因等】

・民間企業等の業績悪化による経費削減など諸般の事情により複数の会員退会があり会員数が減少した。
・令和6年度も名古屋市環境学習プログラムガイドに掲載申請し、守山区小学校及び中村区中学校への出前講座を実施した。令和7年度も継続申請し実施していく。
・展示する塵芥及び動画の更新回数については、目標値を目指して更新していく。
・正規職員については募集を行い、1名から応募があったが、採用には至らなかった。
・アルバイト数については、正規職員の採用を目指したため、令和6年度は見送ったが、今後は目標値を目指して採用していく。